

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる ・授業形態がよく、校内の掲示物も内容があって素晴らしいと感じた。 ・視覚からの効果が得られるよう、教室経営の充実が図られている。 ・「潮スタイル」の意義を教職員が共通理解し、しっかりと取り組んでいる。 ・児童が自主的、計画的の家庭学習に取り組むことができるよう工夫されている。	3.6
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る ・児童アンケートの結果から、子どもたちが夢を持ち自己実現に向けて多くのことに挑戦する経験の必要性を感じた。 ・校舎増築のため、学校敷地内の自然が減ってしまうのが残念。既存の飼育小屋などを活用して生き物と触れ合う機会を作り、情操教育を充実させてほしい。	2.9
3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む ・体育大会については、児童に役割を持たせ、活躍の場を増やすなど、工夫の余地がある。 ・朝マラソンやなわとびタイムなど、基礎体力づくりの取組がなされている点が良い。	3.0
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る ・家庭や地域との連携を図りながら、防災教育の充実を図ってほしい。 ・地域の方々の協力が得られ、通学路の安全対策が図られている。	3.4
5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む ・毎月1回は保護者が児童の学校生活の様子を観ることができるよう、年間を通じ計画的に開催されている点が良い。 ・地域学校協働本部の活動を今後さらに活性化し、家庭・地域・学校が連携してよりよい学校づくりを目指していきたい。 ・学校だよりや学年だより等、学校からの情報発信が充実しており、保護者からの信頼が得られている。	3.5
■教育目標 ・子どもたちの姿から、全教職員が常に学校教育目標を意識し教育活動を行っていることがうかがえる。 ・学校教育目標が保護者にもしっかりと伝わっており、各家庭でもそれを意識して教育していくことができている。	3.5
■研究テーマ ・めざす子ども像の具現化に向け、全教職員が共通理解し研究を進めることができている。 ・継続可能なテーマ設定をし、教職員の指導力向上・児童の学力向上をさらに高めてほしい。 ・校内研究は意義のあるものであると感じる。知育面では、これまでの取組の成果が見られているので、今後は、体育面での取り組みに期待する。	3.4
■	
評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	A